弓削 雅人 Masahito YUGE

教員の教育・研究活動報告

役職／職名	特任教授	所属	世界共生学部 世界共生学科
ふりがな	ゆげ まさひと	生年	1963年
学歴	慶應義塾大学法学部政治学科卒業（1986年）		
学位	法学士［1986年 慶應義塾大学］		
研究分野	ジャーナリズム論、メディアリテラシー、ドイツと欧州国際政治		
研究テーマ	メディアの現場 現状と将来 ドイツの政治と欧州		



主な研究業績

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	備考
年代・エリアを限定したネット調査の課題ー18・19歳×中部エリアの事例ー	単	2016年９月16日	第６回世論・選挙調査研究大会	埼玉大学社会調査研究センター「政策と調査」11月号収録

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	備考
英字新聞The NUFS TIMES の編集と発行 海外からの留学生と学部生にフィールドワークを活用して英文記事を執筆させ、日本の社会や文化の課題を重層的視点から学んでもらう。取材計画から実行までの協働や記事作成を通して言語コミュニケーション能力、英語文章力の向上を図る。	2023年４月～現在	
学生通訳コンテストのスクリプト作成 全国の大学から出場するコンテストで出題する日本語、英語のスクリプトを作成、大会では日本語スピーカーを担当している。2023年(第17回)以降、「スポーツ」「メディア」「世界平和」をテーマに、出場学生の研鑽の成果発揮と通訳の醍醐味を体験してもらった。	2023年４月～現在	
複言語科目としてのドイツ語教育 本学の理念「英語＋One」のもと、グローバル社会で通用するマルチリンガルの育成に貢献するためドイツ語初級、中級レベル習得を促している。会話表現を有効に支える文法知識の理解と同時に、ドイツ語圏の文化や社会にも関心を高めてもらうよう努めている。	2026年４月～現在	
学生の研究・活動のメディア報道 学生の授業内外での活動実績について、メディアでの報道・紹介の実現に努めている。学生が自らの実績を学外の一般社会に評価してもらうことで、達成感が得られること、モチベーションを向上させることが目的。	2023年４月～現在	
ニュースカフェの開催 時事ニュースへやメディアで取り上げられている課題を題材にして、学生に社会への関心を高めてもらうため、姉妹校の名古屋学芸大学の学生とともに毎月１～２回程度、少人数による自由討論の広場を設けている。	2023年９月～現在	

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
1986年～2009年	中日新聞社　編集局　記者	
2009年～2012年	中日新聞社　ベルリン特派員	
2017年～2020年	中日新聞社　電子メディア局	
2020年～2023年	中日新聞社　中日スポーツ総局　編集委員	
2023年～	学校法人中西学園　広報参与 名古屋外国語大学　特任教授	

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
GJSC 903 Japanese Society and World through Media （ジャパンスタディーズ 903）	全学部（２年次以降） 国際日本語教育インスティテュート
日本語ジャーナリズム	世界教養学部
ドイツ語（初級B）	複言語科目
ドイツ語（中級B）	複言語科目
世界の言語B（オムニバス）	複言語科目

授業の改善と工夫

改善と工夫内容
職務経験に基づいた知識の提供を通じ、学生に視野を広げてもらえるよう努めている。ジャーナリズム関連授業では特に、学生自らが課題を探し、フィールドワークを通じて成果に到達するプロセスに重点を置いている。どういうアプローチ、表現方法がより成果物の完成度を高めるかにも関心を抱いてもらえるよう議論を促しアドバイスしている。複言語科目としてのドイツ語教育、世界共生学科での授業では、ドイツ勤務で培った知見や独自の題材を紹介して、学生のドイツ・欧州の政治社会史への理解を深め、世界観の再構築や新しい視点づくりをサポートしている。